令和7年度 東郷町立諸輪小学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和7年5月8日（木）
10時00分から12時10分まで
場所：東郷町立諸輪小学校 校長室

1 開会の言葉（進行：教頭）

諸輪小学校教頭：桑原先生より開会の言葉

2 校長あいさつ

諸輪小学校校長：浅田先生よりあいさつ

3 自己紹介及び諸輪小学校運営協議会の昨年度の様子・確認事項について

・自己紹介

中村悦子、山口芳生、寺澤秀治、河合久美子、矢谷義信、平松菜穂、加藤達雄、加藤正春、近藤鑛治、水野祐治、柘植昌司、近藤真琴、浅田文代（校長）、桑原久和（教頭）

・昨年度の様子・確認事項について

昨年度、学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールの試行を行ったが、地域学校協働本部の構築は未完成であり、現在も進行中である。今年度予算がつけられ、コーディネーターが設置され、前進がみられる。

4 議事

(1) 会長の選出について

委員の互選により、柘植委員を会長に選出

→参加者全員が承認

(2) 副会長の選出について

柘植会長の指名により、山口芳生委員、加藤達雄委員、近藤鑛治委員を副会長に選出

→参加者全員が承認

(3) 地域学校協働活動推進委員（コーディネーター）の承認について

昨年度から委員として活動している近藤真琴委員をコーディネーターとして選出

→参加者全員が承認

(4) 令和7年度の学校運営方針承認について

・学校経営計画について

・教育課程編成に関する件について

（校長）経営方針は、昨年度末の協議会で提案した内容と変わらない。

重点努力目標は、

ア 「主体的・対話的で深い学び」の授業を実践する。

イ 挨拶を大切にし、学校、家庭、地域が協力して、人を思いやる児童を育てる。

ウ 学校環境の改善を図り、健康があってこそその教育活動であると考え、健康維持

を推進する。

(校長) 特に大きな変更はないが、総合学習などの一部の指導計画は学習指導要領に合わせて変更された。また、児童会や学級活動を通じて、多様な関わり合いを進める。

【熟議】 コミュニティスクールスローガン決定に向けた第一歩として、教育目標についての理解を深めるための意見交換を委員間で行った。

→学校運営方針について、出席委員全員の賛成で承認

◎第1グループ

・「クラブ活動と部活動の違い」

→部活動が廃止されるという話があり、クラブ活動と部活の違いについての理解が必要であると感じている。

・「地域と学校の協力」

→地域の協力について、高齢者がメインとなることが多いため、負担にならないようにする工夫が必要である。

・「ボランティアの重要性」

→支えてくれる人が限られているため、その方々の活動をどう続けていくかが課題である。

◎第2グループ

・「CSスローガンのイメージ」

→『元気で明るい子どもを育てる』というテーマが出た。教育の基本方針に基づいて、地域として何ができるかを考える。

・「自立と協力」

→自立を促すためには、互いを認め合い協力することが大切。多様性を認め、他人の話をしっかりと聞くこと（傾聴）が重要なポイントである。

◎第3グループ

・「挨拶の重要性」

→地域と子どもたちが挨拶を通じてコミュニケーションを深めることが大切である。挨拶は明るいコミュニケーションの基盤になる。

・「こども110番」

→子どもたちが助けを求める場所（集会所や公民館）を明確に示す、「こども110番マップ」を作り、子どもたちが安全に助けを求められるようにする必要がある。

(5) 諸輪小学校地域とかかわる事業（授業）の計画及び課題について

【計画】 今年度計画している地域と関わりのある教育活動について教頭から説明された。

・ボート体験（5月15、16日）

→愛知池にて実施予定の地域と連携した体験活動

・ドローンによる稲の種まき（5月22日）

- 5年生の社会科の授業の一環として、農業や米作りを学ぶイベント。スマート農業の学習にも関連
- ・クラブ活動（ボードゲーム）
 - 昨年から存在するボードゲームクラブに将棋も取り入れる形で進める予定。将棋クラブに関しては、今後参加者が増えれば別途クラブとして独立させることも検討
- ・交通安全教室（6月2日）、スマホ安全教室（7月4日）
 - 子どもが参加する行事であるが、保護者にも参加を呼びかける予定
- ・運動会（10月25日）、給食会（11月13日）、PTA研修会（11月18日）
 - PTAと連携して行う行事
- ・授業公開（11月18、19日）
 - 味覚の授業を公開予定
- ・ありがとう集会（2月13日）
 - 地域や学校の支援者への感謝を表す行事
- ・学校運営協議会の会議（2回目：11月27日）
- ・卒業証書授与式（3月19日）

【課題等】

- （会長）これらの活動は、地域社会と学校の協力を深めるとともに、児童にとって有益で、学校の負担も少ない形で行われることが求められる。また、持続可能な事業であるかどうかポイントである。
- （教頭）登下校の見守り活動や、通学路の草取りなどに加え、ミシンの学習補助や通学路変更に伴う安全確保について地域の方をお願いしたい。
- （教頭）6年生の校外学習について、昨年度天候の影響により明治村から犬山城に変更になった。今年度は名古屋城や県庁周辺に変更を検討している。また、バス代が非常に高額なため公共交通機関に変更を検討している。しかし、駅までの移動や引率者の問題があるため、地域の協力をお願いしたい。
- （委員）地域の支援として、例えば金管バンドの演奏など、コミュニティスクールで発表の場を作ることも前向きに検討していただきたい。子どもたちに多く発表の場があることは良いことだと思う。地域で楽器の運搬補助などを手伝うことで負担がかからないようにできるのではないかな。
- （委員）金管バンドは曲を仕上げるのが大変。教員の負担に繋がるのではないかな。
- （委員）部活動の顧問の先生とも相談したい。いずれにせよ、子どもたちに発表の場を提供することが重要である。
- （教頭）クラブ活動について、今年度新設することは難しいが、地域の協力があれば来年度以降で絵画クラブなどを新設できるかもしれないので協力をお願いしたい。
- （委員）ボート体験を通じて協調性やチームワークを学ぶ場所を提供したい。船の使用のため、朝早くからの協力を要請したい。活動が無事に進めば、来年度以降も継続的に開催できるようにしたい。
- （教頭）5年生の味覚の授業を11月19日に行う予定。去年、学年が分かれておりうまく

進行できなかった反省を活かし、スムーズに進める予定。昨年度おにぎり作りなどの体験活動が好評だったため、同じように収穫した米を味わってもらおう形で行う予定。

(6) 令和7年度 学校運営協議会予定について

(事務局) 次回は11月27日(木)を予定。今年度は2回目と3回目の間が長いため、その間に追加の会議が必要となる可能性がある。

(7) その他

(コーディネーター) 通学路点検について、東交差点が非常に危険。その他にも交通量が多く危険な場所がみられるため、通学路を点検して危険マップを作成するのはどうか。地域及びPTA、行政の連携と協力が必要。夏前に進めたいが、具体的な日時は、参加するメンバーの都合に合わせて追って調整する。

(委員) 現在は校長と教頭が名簿に登録されているが、今後は他の教員にも参加してもらいたい。教員が参加することによって授業の質向上に繋がるのではないか。

(教頭) メンバー編成に関して、今後委員の皆さんに意見を頂きながら検討したい。